

令和6年度福岡市総合図書館に係る指定管理者選定・評価委員会 議事要旨

○日時：令和6年7月23日（火） 15:00～17:00

○場所：福岡市総合図書館第1会議室

○出席者：（委員）白根恵子、武石誠司、森田昌嗣、八尋理恵

（事務局）橋本総館長、松崎館長、永長運営課長、立石図書サービス課長 他

（傍聴人）1名

<開会>

○ 総館長挨拶

<財務諸表にもとづく指定管理者の財務状況について>

委員 指定管理者各社の経営状況の評価について報告を行う。
いずれの指定管理者もコロナ以降非常に厳しい状況にあったが、数字は順次回復している。コロナ以降当期利益が赤字の状態が続く1社についても、売上は毎年増収で借入金も減少しており、指定管理業務は共同事業体として運営している。その点も鑑みて、すべての指定管理者について問題はないと判断している。

福岡市総合図書館の指定管理者(よかたい図書館共同事業体)入室

<福岡市総合図書館の指定管理者(よかたい図書館共同事業体)による事業説明>

<福岡市総合図書館の指定管理者(よかたい図書館共同事業体)と委員との質疑>

委員 利用者からの意見に迅速に対応している。去年のことではないが、7月22日の西日本新聞に「男性用トイレにも汚物入れがあったらいいのではないか」という記事が掲載されていた。こうしたニュースから利用者ニーズを先取りしてさっと対応できるとさらに良いと感じる。

エントランスホールに市民が講師となって行う講座を募集する表示があった。その表示に対して講座を開講したいという声は何件あったのか。

指定管理者 汚物入れについては考えて対応したい。
講師募集については、現在5～6件の応募がある。そのうち1件は西南戦争にまつわる全5回の講演のうち、第1回を先日実施したところである。自身の体験を生かしたいという応募についても指定管理者でヒアリングを行い、図書館にふさわしい内容であれば運営課に提案書を提出して、承諾の上で進めていく流れとなる。

委員 それは今年からの取り組みか。

指定管理者 コロナ以前にも実施しており、コロナ禍の影響により中断していたものを最近になって再始動させた。応募から数年経過した今も開講したいという利用者の声があり、引き続き前に進めていく。

委員 とても良いことだと思う。

委員 利用者数としてはコロナ前はかなり戻ってきている状況か。

指定管理者 徐々に戻ってきている。令和4年度との比較では総合図書館全体で入館者数が約4万8千人増、書架エリアへの入場者も約2万1千人増となっている。令和6年4月から6月までの入館者数も、5年度と比べて増加している。

委員 利用状況を確認する上で、入場者数などの数字はぜひ資料にも記載してほしい。

指定管理者	<p>当初は記載したこともあったが、今年の利用者数をテーマとする指定がなく、記載しなかった。必要であれば運営課とも協議しつつ、資料に記載する。</p> <p>福岡市総合図書館の指定管理者(よかたい図書館共同事業体)退出</p> <p>福岡市東図書館の指定管理者(東図書館管理運営共同企業体)入室</p> <p><福岡市東図書館の指定管理者(東図書館管理運営共同企業体)による事業説明></p> <p><福岡市東図書館の指定管理者(東図書館管理運営共同企業体)と委員との質疑></p>
委員	<p>様々なイベントや講座を多彩に実施しており、それが利用の向上に繋がっていると思う。毎週 20 冊の新刊本を受け入れているとのことだが、これは東図書館が希望した図書が送られてくるということなのか、それとも総合図書館から機械的にという意味か。</p>
指定管理者	<p>東図書館で選書したものと、利用者からリクエストがあったものを優先的に発注したものが届いている。</p>
委員	<p>東図書館は、旧東図書館から引き継いだ図書館なので、蔵書が傷んでいるものが多いと思われる。傷みはあってもロングセラーの本も所蔵されているという意味ではよいと思うが、子どもの場合、本を手にするか否かの判断基準に見た目も含まれるので、古くなった本の買い替えも必要と考えるのだが、ロングセラーの児童書を廃棄する際に、買い替えるという点に配慮しているか。</p>
指定管理者	<p>移転開館当初は、蔵書数が足りていなかったため古く傷んだロングセラーの本を買い替えるということまではできていなかったが、現在は積極的に買い替えを行っている。</p>
委員	<p>これは、図書館の管轄ではないと思うが、数日前の新聞記事で「男性用のトイレにも汚物入れがあるとよいのでは」というものを目にした。こういったことも、図書館側からなみきスクエアの施設管理者に要望や提案することはできるのか。</p>
指定管理者	<p>2 か月に 1 回、なみきスクエアの施設管理者と定例協議会を行っており、その時に要望や提案をすることは可能なので、提案してみる。</p>
委員	<p>3 点ほど質問だが、まず、購入している図書のうち、一般書と児童書はどのような割合となっているのか。また、利用者からの要望に応えることも大事だと思うが、司書の目線で良いと思われるものも選書しているか。</p> <p>最後に、コロナが明けてからの子どもたちの状況と、コロナ禍前後での変化などあれば聞かせていただきたい。</p>
指定管理者	<p>一般書と児童書の購入割合については、東図書館で 1 年間に購入できる金額全体の 4 分の 1 から 5 分の 1 程度を児童書や絵本に充てている。</p> <p>また、利用者からのリクエストも考慮しながら、毎週発行の新刊図書が記載されているリストを元に、分類ごとの担当司書が中心となって選書したものを市に提案している。</p> <p>最後に、コロナ禍が明けてからの子どもたちの状況と変化についてだが、やはりイベントの参加者はとても増えたと思う。また、変化としては、以前は母親が子どもを連れてきている姿が多かったのに対し、現在は父親が子どもと一緒に参加することがとても多くなっており、おはなし会の参加者が父親と子どもたちだけということも増えていることが、とても印象深いものがある。</p>
委員	<p>貸出冊数が昨年よりも減っている理由は、蔵書の少なさや本が傷んでいるという状況が反映したためかと考えたが、東図書館では「コロナ禍が明けて自宅で過ごす時間が減り、外出の機会が増えたためではないか」と判断しているという認識ということでしょうか。</p>
指定管理者	<p>よい。</p>

委員	次に、購入する図書の選書について、先ほど「利用者が要望している本を意識して選んでいる」というような話があったが、そういった利用者のニーズはどのように集めているのか。アンケートを見たところ、1~2月と来館者が少ない時期に実施されているようだが、200人のうち125人が無回答という結果になっている。どのようにアンケートをとったのだろうか。
指定管理者	アンケート内の自由記入欄が無記入だったものが125人分という意味である。
委員	ほしい本の情報を集めるいい方法を検討した方がよいのではないかと。
指定管理者	購入を希望する本については、予約のリクエストという形で受け付けている。この方法を知っており既に活用している利用者もいるが、そうではない利用者もいるということで、今後、周知方法の工夫に努める。
委員	貸出冊数は、昨年と比較すると確かに1万数千冊減っているが、東図書館の蔵書冊数は何冊か。
指定管理者	7万5千冊である。
委員	蔵書冊数からすると、本の貸出に関する回転率はとても高いと言えるのでは。貸出冊数には、他館や相互貸借による貸出も計上されているとは思いますが、それを鑑みても、とても良い回転率だと思う。
<p>福岡市東図書館の指定管理者(東図書館管理運営共同企業体)退室</p> <p>福岡市早良南図書館の指定管理者(株式会社図書館流通センター)入室</p> <p><福岡市早良南図書館の指定管理者(株式会社図書館流通センター)による事業説明></p> <p><福岡市早良南図書館の指定管理者(株式会社図書館流通センター)と委員との質疑></p>	
委員	出張おはなし会の取り組みについて非常に好感が持てるが、これは司書が実施しているのか。ボランティアの方は参加していないのか。
指定管理者	ボランティアの方は参加しておらず、早良南図書館のスタッフのみで実施している。
委員	ともてらす早良内にある、「アップルハート訪問看護ステーション早良」とうまく連携をして講座の開催や職員研修を実施している点が素晴らしい。 以前も同様に感じたが、図書館への誘導が寂しいため、誘導できるものを設置した方がよいのではないかと。 ともてらす早良のエントランスホールに展示コーナーがあったが、図書館が使用することはあるのか。
指定管理者	図書館として展示をすることもあるが、主としては市民や福祉施設の方が生涯学習の成果や作品を展示する場となっている。 昨年度行った絵本作家の講演イベント後には完成した絵を本と一緒に展示していた。
委員	読書週間などで展示コーナーをうまく活用できるとよいのではないかと。 毎月1回実施している4社会議でエントランスホールの使い方に関して話し合い、図書館の存在を前面にアピールできるような工夫を検討していただきたい。
指定管理者	以前から図書館の場所が分かりにくいという声の利用者からも上がっている。昨年度、案内掲示を設置する話が上がっていたが、予算的に厳しかったため看板を手作りし、入口に設置した。結果として図書館の場所を聞かれることが減ったため、今後もこのような創意工夫を凝らしていきたい。

委員	<p>図書館の場所が分かりにくいと感じた。 イベントを多く実施しており、活気づいていると感じる。 事業報告書の利用者からの要望・意見一覧に、『⑬借りた本がわからない。わかるようにしてほしい。』とあるが、どういう意味か。 また、おはなし会の流れや選書について教えてほしい。 図書館を訪れた際、比較的若い大人が多かったが、高齢者も来館しているのか。</p>
指定管理者	<p>『借りた本がわからない。わかるようにしてほしい。』というのは、返却後も自分が借りた本を記録として見返すことができるようにしてほしいということである。 福岡市では借りた本が記録されるウェブサービスを導入していないため、早良南独自に、大人向けの「totte」と子ども向けの「本ノート」という本を借りた記録を記載する冊子を作成している。福岡市が作成している読書手帳も合わせて紹介し、利用者自身で読んだ本の記録を残すことを提案している。 おはなし会については選書から読み聞かせまで全てスタッフがやっている。経験者が中心となって指導しており、スタッフのスキルを伸ばすために担当を決めることなく、全員がおはなし会を経験するようにしている。子どもや保護者、高齢者など参加者がどのようなものを喜ぶのかを考えながら工夫して取り組んでいる。 早良南には高齢者も多く来館されている。利用者アンケートにも記載しているように、60代以上の利用者が多く、朝から新聞を読みに来館されることが多い。若い世代や親世代は土日や午前中に集中して来館されることが多い。</p>
委員	<p>地域に根差した企画事業が多く非常に感心した。引き続き頑張してほしい。 現在の蔵書数はどの程度あるのか。</p>
指定管理者	<p>以前の6万冊から増え、現在は約6万9000冊である。</p>
委員	<p>入館者数が目標値を達成していないが、目標値の設定は指定管理者が行っているのか。</p>
指定管理者	<p>指定管理者が行っている。令和3年度のコロナ禍の時期に提案書の作成があり、コロナ禍を鑑みた数値では目標が低くなってしまいうため高く見積もっていると前任者から聞いている。</p>
委員	<p>早良区には22万人が住んでおり、早良南図書館の立地と利用者アンケートの地域回答からみても、早良区から来られる方が非常に多い。これらを踏まえると30万人の目標は非常に高く、達成が困難だと感じる。令和5年度は約20万人が来館しており、地元の来館者も増えていると聞いている。決して少ない数値ではないため、目標値の設定を考え直した方が良いのではないかと。</p>
指定管理者	<p>2年前と比べると、1日あたりの来館者数が増加傾向にある。土日になると900～1000人を超える日もあり、先日ともてらす早良でイベントがあった際には1700人を記録した。このように来館者数は増加傾向にあるが、目標値の高さについては問題視される点であるため市と協議しながら検討したいと思う。</p>
	<p>福岡市早良南図書館の指定管理者(株式会社図書館流通センター)退室</p>
委員	<p>評価シートは教育委員会(案)であり委員の意見を伺い最終評価とする。</p>
	<p><福岡市総合図書館の指定管理者(よかたい図書館共同事業体)に対する評価></p> <p>【非公表】</p>
	<p><東図書館の指定管理者(東図書館管理運営共同企業体)に対する評価></p> <p>【非公表】</p>

<早良南図書館の指定管理者(株式会社図書館流通センター)に対する評価>

【非公表】

委

員

委員からの意見をまとめ、総合図書館、東図書館及び早良南図書館それぞれの指定管理者に対する評価を確定してほしい。
これをもって委員会を終了する。

<閉会>